

「との財政講座」 契約ってどんなもの？

「契約と聞くと大げさに考えてしまっただけ、自動車や家などを購入するときにも、みんな契約を結んでいるのよ。」
 「そっか。身近にもいろんな契約があったんだ。ところで、塩電市で行っている契約はどういうものがあるの？」

「コピー用紙などの文具を購入するものから、現在市で行われている工事の契約まで、さまざまなものがあるの。議会で予算を承認してもらった後に入札を行い、契約を結んでいるのよ。年間約400件(図1)の契約を結んでいて、今年度の工事の発注状況(図2)は件数で約76%、金額で約64%よ。契約はどのような手続きで行うの？」
 「まず工事などを始める起工という手続きを行い、次に一般競争入札であれば公告、指名競争入札などであれば業者選定のあとで現場説明を行い、その後に入札し契約をするのよ。」

(図1) 契約件数 (財政課所管分)

(平成25年度は12月末現在)

	H21	H22	H23	H24	H25
工 事	135	123	157	143	93
建設関連	30	28	44	55	39
物品役務	207	226	274	214	210
計	372	377	475	412	342

(図2) 平成25年度公共工事発注状況

(平成25年12月末現在)

	件数	金額
発注予定工事	112	14,571,020
発注済工事	85	9,269,897
発 注 率	75.9%	63.6%

「そういえば、新聞で震災以降公共工事の不調が多いという記事を見たけど、不調って何？塩電市でも不調は多いの？」
 「不調は、金額の折り合いがつかないことや、入札に参加する業者がいらないなど、入札が成立しないことを言うのよ。塩電市も震災前から比べると3~5割(図3)も増えているの。」

「どうして不調が増えたの？」
 「道路復旧にはアスファルト、建物の建て替えには木材などを大量に使うけど、その生産が間に合わなくて資材が不足し値段が高騰しているの。また、工事には大勢の作業する人が必要だけど、その人数が不足して工事を受ける業者さんが入札に参加できなくなっているのよ。」

「なるほど…。不調になると復旧・復興工事が遅れてしまわないのかな？」
 「その通りよ。不調となった工事は、次に不調にならないための調査をした後にもう一度入札を行うから、どうしても時間がかかるとの。だから、契約方法や参加基準の見直しをして復興が遅れないように不調をなくす取り組みを行っているのよ。」

(図3) 年度毎公共工事不調状況

(平成25年度は12月末現在)

	H22	H23	H24	H25
入札件数	123	156	143	93
不調件数	5	28	29	14
不 調 率	4.1%	17.9%	20.3%	15.1%

震災前より3~5割不調が増えています

問

財政課管財契約係

364-1111

(内線236)

今、学校では… 36

「しがまウインタースクール」開校

市では、児童生徒の学力向上を目指し、「学力向上プラン」を立ち上げ、さまざまな取り組みを行っています。その中の「子どもが姿勢づくり」を支援する市独自の事業の一つが「しがまウインタースクール」です。

今年度は、各小・中学校で設定した冬休み中の二日間、国語や算数・数学を中心に、各校で用意した教材や児童生徒が自分で用意した教材を使って学習しました。また、大学生のボランティアスタッフによる学習支援も受け、どの学校でも、児童生徒一人ひとりが一生懸命課題に取り組む姿が見られました。

ボランティアスタッフの感想

◇男子学生

驚いたことは、学習時間と休み時間の使い分けが上手だったことです。代表者の号令で一気に静かになり、勉強に向かっていました。学習への意欲も非常に高かったです。

◇女子学生

小学3年生を担当しました。どの子どもたちも、話しかけると笑顔でこたえてくれました。先生方と子どもたちのコミュニケーションもとれていて、とても温かい学校だと思いました。一生懸命やり抜こうとする姿が印象的でした。



▲学生ボランティアから勉強を教わる児童生徒たち



◇参加延べ人数

小学校(7校)…約1,240人
 中学校(5校)…約700人

◇会場

市内各小・中学校

◇対象

小学3年生、
 中学3年生

問 学校教育課

365-13216